



双塔

カトリック新潟教会

2019年11月
No. 378

神様の返事

協力司祭 ホセ・ルイス・ロレンソ

私の大好きな一つの詩を皆さんに分ち合いたいと思います。この詩は米国の内戦（1861-65）南部連合の無名兵士の祈りだったそうです。

大きなことを成し遂げるために力を与えてほしいと神に求めたのに、

謙遜を学ぶように弱いものとされた。

より偉大なことができるように健康を求めたのに、

よりよいことができるように病気を戴いた。

幸せになろうとして富を求めたのに、

賢明であるようにと貧しさを授かった。

世の人々の称賛をえようとして成功を求めたのに、

神を求め続けるようにと弱さを授かった。

人生を享楽しようとはあらゆるものを求めたのに、

あらゆることを喜べるようにと命を授かった。

求めたものは一つとして与えられなかったが、

願いはすべて聞き届けられた。

神の意に添わぬものであるにも拘わらず、

心の中の言い表せない祈りはすべて叶えられた。

私はあらゆる人の中で最も豊かに祝福されたのだ。

（訳：渡辺和子、こころのチキンスープより）

神様は私たちの祈りを聞いてくださるのです。わがままなお願いでも、私たちが愛して下さる天の父は必ず聞いてくださいます。それは間違いありません。しかし、必ずしも願いどおりの祈りをそのまま叶えてくださるとは限りません。英語でこの文書があります。God always answers prayers. Sometimes His answer is NO. つまり、神様はいつも私たちの祈りに返事をしてくださいます。時々、神様の返事は“ノー”です。しかし、ノーだからと言って、私たちに神様は何も与えてくださらないと思っははいけません。神様は私たちのために、よりよいものを与えてくださいます。そこで、私たちのチャレンジです。神様から与えられている数々の恵みに私たちは気づいているでしょうか。

11月には「王であるキリスト」の祝日に典礼の暦が終わります。待降節にはあらためて神様の愛を黙想しながら、私たちは神様からの御恵みをいつも気づき、感謝の心をいつも持つことができるように頑張りましょう。神に感謝。